

# コミュニケーション行動評価概念の日中比較

——「親切」と“亲切”を例にして——

陶 琳

## 0 はじめに

国際化が進んだ今日、多くの人々が海外に出掛け、また多くの外国人が日本を訪問したり、日本で留学をしたり、仕事をしたりする。つまり社会的・文化的背景の異なる外国人と出会う機会が増えただけでなく、そのような人々と日常的にコミュニケーションをとることも頻繁に起こるようになってきた。この時、コミュニケーション行動評価語彙が外国人イメージ構築にどう作用しているか、つまりその国のコミュニケーション評価概念を知ることが、国際理解のための重要な視点となるであろう。

どの言語でも価値観を反映する語彙は存在する。そのような語彙は評価語彙と呼ばれる。評価語彙は個々の言語社会がコミュニケーションのために前提としている風俗習慣や社会的、文化的価値観を反映する。この小論は日本語と中国語に共通に存在している【親切】（「親切」と“亲切”、以下同様）の評価語彙を比較する。その共通点と相違点を明白にするために、現代日本語辞典、現代中国語辞典、日中辞典、中日辞典、類義語辞典、新聞記事などを利用して、現代の両社会で、通常とされるコミュニケーション行動評価概念【親切】を明らかにする。

## 1 問題設定

異文化コミュニケーションの際に摩擦問題となるのは、誤解である。コミュニケーションには誤解の可能性がつきまとう。しかしながら、とりわけ、社会的、文化的背景が異なる人物が対話相手だと、その可能性はずっと高まる。誤解は、必ずしも対話相手の用いる言語の知識がこちら側に欠けていることによって起こるとは限らない。それ以外に、文化や社会によって価値体系が異なることによることもあろう。一方の話者が「当たり前」だと思っている行動が、もう一方の話者には「おかしい」振舞いと見なされることもありうる。そういった価値体系は、言語表現に現われる。そこで、近年、語彙に着目してコミュニケーション行動評価概念（evaluating concepts of communicative behavior : ECCBと略す。以下同様）の対照意味論研究が行なわれるようになってきた。本研究は、その関連のなかに位置づけられるものである。

この分野の研究としては、ドイツ語のコミュニケーション行動評価概念についてはHermanns (1993) や Yamashita (2003) が、日本語についてはNishijima (1995) が挙げられる。また、対照研究では、日米に関しては Ide *et al.* (1992) を、日独に関しては Marui *et al.* (1996) や Kuhlmann (2005) を、日韓については南ほか (2006) を挙げることができる。日中については陶 (2008, 2010) と西嶋・陶 (2009) が挙げるができるが、日本語と中国語におけるコミュニケーション行動評価概念【親切】の比較研究はこれまであまり注目されていない。

中国人と日本人の接触が日常的になっている現在、この分野の研究はコミュニケーションの障害を予め防ぐためにも必要なものであろう。

仮説提示：評価語彙は個々の言語社会がコミュニケーションのために前提とする風俗習慣や社会的、文化的価値観を反映する。

本研究は日中で共通して存在する【親切】の基本的な概念の特質を検証する。

## 2 資料と方法

### 2.1. 資料

コミュニケーション行動評価概念 (ECCB) を抽出する手段として実用辞書の利用を考える。ここで利用される辞書は二種類がある。まず実用国語辞典：日本語国語辞典と中国語国語辞典を利用する。それから、二言語辞典：日中辞典と中日辞典を利用する。

対象の限定：【親切】（日中で共通して存在する基本的な概念）

### 2.2. 方法

#### 2.2.1. 国語辞典の利用

日本語と中国語のそれぞれについて、複数の実用国語辞典を利用し、その語意説明で使用される語彙を抽出する。抽出された語彙の中から、複数の辞書に共通する説明語彙をその類義語グループないし語場（シソーラス）とする。

この語場が、日本語と中国語の【親切】の意味関連構造を形成すると見なす。また、日本語と中国語の抽出された語場どうしを比較し、その異同を明らかにする。

つまり、そこでまず本研究では類義語関係にある単語グループ（シソーラス）の内部関係を調査し、【親切】のシソーラスの内部構成を比較することで日本語と中国語の【親切】の概念特質を考える。

#### 2.2.2. 二言語辞典の利用

次に日中辞典と中日辞典を利用して【親切】の語場を構成する語彙の対応語彙を抽出する。対応語彙を2.2.1で明らかにされた元の言語の語場と比較する。たとえば、2.2.1の方法、すなわち日本語国語辞典を利用して明らかにされた「親切」の語場と中日辞典から抽出された【親切】語彙の対応語彙を比較する。このようにして、2.2.1で明らかにされた「親切」の日中間の異同を検証する。

つまり、日中辞典と中日辞典における【親切】の解釈例について考察する。それを比較することによってコミュニケーションの中での【親切】の日本語、中国語の意味的位置づけの類似点と相違点を明らかにするよう努めた。

### 3 結果

上記方法によって明らかにされた結果を表で提示する。まず、第一の調査目標は日本語、中国語において、【親切】の概念はどのようなものか、及び類義語関係にある単語グループ(シソーラス)の内部構成はどのようになっているか、「親切」と“亲切”の各シソーラス用例の分析を通じて各言語の【親切】文化の特徴と相違点の一端を示す。

11冊の日本語辞典、11冊の中国語辞典における「言い換え」に使われた例文により、日本語、中国語における【親切】のシソーラス内各語彙の関連を表1、表2に示す。

以下日本語「親切」、中国語“亲切”を別々に考察していく。日本語「親切」のシソーラスは「人情の熱いこと・人情が深いこと」、「真心を尽くす」、「思いやりがあり、配慮のゆきとどいている」という三大要素で構成される。中国語“亲切”のシソーラスは“关心”、“热情而关心・热情关切”、“关系密切”という三大要素で構成される。

#### 3.1. 日本語の「親切」のシソーラス内部構成の調査方法と結果の考察

日本語「親切」の意味は日本語辞典によると、

「人情のあついこと。親しく懇ろなこと。思いやりがあり、配慮の行き届いていること。」『広辞苑』

「相手のことを思いやって、優しく接すること、また、配慮が行き届いていること。」『明鏡国語辞典』

「相手の身になって、その人のために何かをすること。思いやりをもって人のために尽くすこと。また、そのさま。」『デジタル大辞泉』

『デジタル大辞泉』によると、「親」は「親しい」「親しみをもつこと」という意味で、「切」は「心を込めてするさま」「懇ろ」という意味がある。つまり、「親しく懇ろなこと」、「親しみをもって、心を込めてすること」が「親切」の意味である。

また日本語の「親切」は類語新辞典によると、好意を持って人のためにすることである。ここで収集した日本語のシソーラスは「親切・深切」「厚い」「手厚い」「濃やか」「温かい」「温か」「優しい」「懇ろ」「心尽くし」「情け深い」「懇切」「懇篤」「懇到」「好意的」「厚意」「厚志」「心入れ」「親身」「思い遣り」「気配り」「気遣う」「献身的」「陰になり日向になり」「陰に陽に」の合計24個である。

表1の結果によると、日本語における「親切」関連語の解釈的意味について、「ぴったりとあてはまっていること」「行き届いて親切なこと」「親切で」「思いやりをもって人の為に尽くすこと。そのさま」「思いやりがあり、配慮のゆきとどいている」「相手の身になって、その人の為に何かにすること」「人情の厚いこと・人情が深いこと」「人に対してよく世話をする」「真を尽くす・常に人の為に尽くすさま」「思いやりにあふれている」「思いやり深く、よく人につくすこと」「ぴったり合っていること」「あれこれと気にかけて心配する。心もとなく思う」「親しくねんごろなこと」「情愛がある。情愛があるさま。好意が感じられる」「思いやりが深くて親切なさま」「心をこめて隅隅まで気を配っているさま」「懇切・親切で行き届いていること」「ねんごろなこと・心入れのねんごろなこと」「あらゆる機会に力添えするさま」「身近である・確実である」「親切で手厚いこと」「丁寧なこと」「他人への心情で、思いやりのあること」「思いやりのある心。厚情」「特に相手の為に配慮の行き届いている」「深くはなはだしいこと」「特に、心入れの深いこと」「大きな愛情」「深い思いやりの気持ち、心のこもった親切」「真心を込めてすること」「好意・好意を持って人の為にすること」「自分の身を捧げて他に尽くすさま」「相手を好み親近感を持つさま」「濃やかで万事丁寧なさま」「他人の身の上や心情を推量って、同情する。配慮する」「あれこれ気を遣うこと。配慮」「その人の為になりたいと思う気持ち。親切な気持ち」など解釈用語は合計39個である。



解釈用語「他人への心情で、思いやりのあること」「人情の厚いこと・人情が深いこと」「好意・好意を持って人の為にすること」「親切で」を用いた用例数は9個あり、最も多い。「思いやりがあり、配慮のゆきとどいている」を用いた用例数は8個あり、二番目である。次いで、「真心を込めてすること。真心のこもっているさま」7個、「懇切・親切で行き届いていること」6個と続く。つまり、日本語「親切」のシソーラスの語彙解釈意味は「他人への心情で、思いやりのあること」「思いやりがあり、配慮のゆきとどいている」「人情の厚いこと・人情が深いこと」「好意・好意を持って人の為にすること」「真心を込めてすること。真心のこもっているさま。」「懇切・親切で行き届いていること」が中心である。

日本語「親切」のシソーラスの語彙解釈意味は「思いやり」という意味を含有する表現が多い。例えば「思いやりがあり、配慮のゆきとどいている」「思いやりにあふれている」「思いやり深く、よく人につくすこと」「思いやりが深くて親切なさま」「他人への心情で、思いやりのあること」である。また「親切」という意味を含有する表現が多い。例えば「行き届いて親切なこと」「親切で」「思いやりが深くて親切なさま」「親切で手厚いこと」である。つまり、日本でも「親切」という評価概念は日常にコミュニケーション行動にプラスの評価概念としてもよくみられる。「親切」の評価概念には「他人への心情で、思いやりのあること」「思いやりがあり、配慮のゆきとどいている」「人情の熱いこと・人情が深いこと」「好意・好意を持って人の為にすること」など積極的な対人行動を重視することがわかる。いわゆる、他人志向の配慮行動であるといえる。

### 3.2. 中国語の“亲切”のシソーラス内部構成の調査方法と結果の考察

11冊の中国語辞典を用いて、“亲切”のシソーラスを調査した。中国語辞典によると、“亲切”は

“亲近，亲密，形容热情而关心。”『現代漢語詞典』

“亲近。热情而关心。这里的一切使我倍感亲切。”『新华詞典』

ここで収集した中国語のシソーラスは“亲切”“亲热”“亲近”“亲密”“关切”“关心”“关怀”“关注”“热情”“热忱”“热心”“热心肠”“热心肠儿”“热肠”の合計14個である。解釈用語は“亲近”“亲密”“热情而关心・热情关切”“切近”“贴切”“真切/确实”“亲近/亲密而热情”“情意/真挚而恳切”“亲切热情”“关心”“亲切”“和善,热诚的”“关系密切”“亲密接近”“关注”“亲近密切”“关怀”“关心爱护/照顾”“在意;操心”“关心重视/注重”“热烈的感情/感情热烈”“亲热友好”“热情高,肯尽力”“热情”“热心而真挚的感情”“有热情有兴趣肯努力做”“情意热烈诚挚”“肯尽力帮助别人”“时时留心或表示爱护”“待人处事热情积极”“热情主动/尽心尽力”“爱惜/重视/经常挂在心上”“待人诚恳热情乐于助人”の合計33個である。

表2. 中国語における“亲切”関連語の解釈的意味の出現頻度

語彙項目	解釈用語 (非帯)亲近	亲密	热情而关心・热情关切	切近	贴切	真切・确实	亲近・亲密而热情	情意・真挚而恳切	亲切热情	关心	和善,热诚的	关系密切	亲密接近	关注	亲近密切	关怀	关心爱护・照顾	在意・操心	关心重视・注重	热烈的感情・感情热烈	亲热友好	热情高・肯尽力	热情	热心而真挚的感情	有热情有兴趣肯努力做	情意热烈诚挚	肯尽力帮助别人	时时留心或表示爱护	待人处事热情积极	热情主动・尽心尽力	爱惜・重视・经常挂在心上	待人诚恳热情乐于助人	合計	
亲切	8	6	11	1	3	3		2	2		1																						38	
亲热	1						6	2													1												10	
亲近												9		5		1																	5	
亲密	1																																11	
关切										8	7	2			1	1																	19	
关心											2				1	1	1			1								6			3	15		
关怀																	8	4		1													21	
关注																																	8	
热情																						6	3										11	
热忱																								2									8	
热心																							4	2			1						12	
热心肠																									4		3	1	1	1			5	10
热心肠儿																																	3	
热肠																																	6	
合計	10	6	11	1	3	3	6	2	2	18	9	1	11	5	2	1	2	9	4	10	8	3	2	7	7	4	1	3	7	9	1	3	9	180

表2に収集した中国語“亲切”のシソーラスは180語彙の意味と用例数である。その語彙は殆ど“亲”“关”“热”にしばられる。“亲切”の用例数38が一番多い。“关怀”21の用例数が二番目である。“关切”19、“关心”15、“热心”12、“热情”“亲密”11と続く。

解釈用語“关心”を用いた用例数が18あることであり、最も多い。次い

で、“热情而关心・热情关切”“关系密切”11、“亲近”“关心重视/注重”10、“亲切”“关心爱护/照顾”“待人处事热情积极”“待人诚恳热情乐于助人”9と続く。つまり、中国語“亲切”のシソーラスの語彙解釈意味は“关心”“热情而关心・热情关切”“关系密切”“亲近”“关心重视/注重”“亲切”“关心爱护/照顾”“待人处事热情积极”“待人诚恳热情乐于助人”が中心である。

“亲切”という意味を含有する“亲近”“亲密”“热情关切”“切近”“贴切”“真切/确实”“情意/真挚而恳切”“关心”“和善，热诚的”“热情”この10語が中心である。“关切”は“关心”“关怀”“关注”と同義である。“热情”は“热忱”“热心”と同義である。『中日大辞典』によると、“亲切”“热情”は表情・態度・まなざし・話し方などに、心がこもっていることを表す。“亲切”は親が子に、先生が学生になどのように上位の者が下位の者に対して関心があって懇切であることに重点がある。（“老师的亲切教导（先生の懇切な教え）”）“热情”は意欲或いは情熱があって心がこもっていることに重点がある。“热心”はあることに対して、精力的に力を注ぐことを表す。“热心地辅导学生。（熱心に学生を指導する）”。“热心”には動詞の用法があるが、“亲切”“热情”にはない。例えば“热心公益事业。（公益事業に熱心である。）”。また“热情”には名詞の用法があるが、“亲切”と“热心”にはない。例えば、“爱国热情（国を愛する熱情）”。『日中辞典』によると、中国語の“亲切”は主に身近に感じられること、親しみがあることを表すが、「親身になる」の意から「心がこもっている、親切である」の意味も表す。たとえば、“朴实亲切的诗句（親しみの持てる詩句）”“亲切地接待（懇ろにもてなす）”（『中日大辞典』）。

実は、“亲切”のシソーラスの語彙は日常にコミュニケーション行動評価する語彙としてもよくみられる。例えば：

1. 待人亲切。「人に親切である。」 『中日辞典』
2. 老师亲切地教我如何学习。「先生はどのように勉強するかを心を込めて私に教えてくれた。」 『中日辞典』
3. 老刘是个热心肠，这件事由他去办，你尽可以放心了。

「劉さんは親切で優しい人です。この事を彼に任せると、あなたはきっと安心できるでしょうね。」

4. 他待人非常亲切。「彼は非常に親切に人に接します。」

5. 他对待朋友很热情。

「彼は友達に対して大変親切である。」『中日辞典』

6. 她是个热心肠，一定会帮助你的。

「彼女は親切なのできっとあなたを助けてくれます。」『中日辞典』

7. 他是个热心人,喜欢帮助别人。

「彼は思いやりがあって親切な人です。他の人を援助することが好きです。」

8. 他对同志总是满腔热忱。「彼はいつも胸いっぱいの熱情で人に接します。」

9. 他热情好客从不冷落一个人。

「彼は親切であり、お客が好きでいままで一人のお客でも寂しがることなくあった。」

つまり、中国語の“親切”はコミュニケーションの中での積極的な他人志向の配慮行動である肯定的な評価概念といえる。

## 4 「親切」対“亲切”の相互解釈についての考察

### 4.1. 相互解釈の研究目的

日本語の「親切」を日中辞典がどう解釈しているかを辿ると、“亲切”“亲热”“亲近”“亲密”“关切”“关心”“关怀”“关注”“热情”“热忱”“热心”“热心肠”“热肠”などの中国語の類義語グループが見出される。中国語の“亲切”を中日辞典がどう解釈しているかを辿ると、「親切・深切」「厚い」「手厚い」「濃やか」「温かい」「温か」「優しい」「懇ろ」「心尽くし」「情け深い」「懇切」「懇篤」「懇到」「気配り」「好意的」「気遣う」「献身的」「陰になり日向になり」「陰に陽に」などの日本語の類義語グループが見出される。本項は日中辞典と中日辞典における「親切」と“亲切”の解釈例について考察し、それを比

較することによってコミュニケーションの中での【親切】の意味的位置づけと日本語の「親切」と中国語の“亲切”との類似点と相違点を明らかにするよう努めた。その研究目的は次の2点がある。

- ① シソーラスから【親切】に関して明確になっている日本語、中国語の特徴がどう異なるかについて、その情報を補強するために、相互解釈の実態を解明する。
- ② 調査の結果を比較する場合、各言語のシソーラス体系、そのもののズレを確認しておく必要がある。そのズレを明らかにするために相互解釈の実態を解明しなければならない。

## 4.2. 相互解釈の調査方法

8冊の中日辞典と6冊の日中辞典を調べ、中日辞典における辞書項目“亲切”と日中辞典での辞書項目「親切」に関して中国語と日本語でどのような語彙を用いて解釈しているかを考察した。

上記、8冊の中日辞典における中国語“亲切”のシソーラスの日本語解釈、6冊の日中辞典における日本語「親切」のシソーラスの中国語解釈を調べ、それぞれ類義語の両国語の解釈を集め、それぞれの表を作る。それによって、中国語における“亲切”のシソーラスの日本語解釈、日本語における「親切」のシソーラスの中国語解釈の統計を作る。

## 4.3. 相互解釈の調査結果の考察

### 4.3.1. 中国語純粹シソーラスを解釈する日本語グループ

8冊の中日辞典の調査によって、中国語“亲切”の概念を日本語でどのような語彙を用いて解釈しているかは表3から考える。



日本語における「親切」関連語の解釈的意味の出現頻度（表1）と対照して、中国語と異なる情報を加えることができる。

中国語と違って、日本語「親切」のシソーラスの語彙意味にはばらつきがある。表1と表3を比較すると、以下のような相違点を考えられる。

- ① 日本語「親切」におけるシソーラスと中国語“亲切”におけるシソーラスを解釈する共通の語彙は「親切である」「身近である」「思いやる」「懇ろなこと」「真心を込めてすること」「配慮する」「気遣う」である。
- ② 中国語“亲切”におけるシソーラスを翻訳する語彙の中で、日本語「親切」におけるシソーラスを解釈する語彙の中に見られなかったものは「親しい」「思いやりがあって親切である」「温かい」「親しくする」「親切にする」「関心を持つ」「すすんで力を尽くす」「気を配る」「注意する」「親しみがある」「熱い心」「親切心」「暖かい心にみちている」「心温かい・心温かい人」「燃えるような誠意・熱意・熱情」「心をこめた・心がこもっている」「切実である」「積極的である・熱意がある」である。
- ③ 日本語「親切」におけるシソーラスを解釈する語彙の中で、中国語“亲切”におけるシソーラスを翻訳する語彙の中に見られなかったものは「ぴったりとあてはまっていること」「行き届いて親切なこと」「思いやりがあり、配慮のゆきとどいている」「人情の熱いこと・人情が深いこと」「人に対してよく世話をする」「真心を尽くす・常に人の為に尽くすさま」「思いやりにあふれている」「思いやり深く、よく人につくすこと」「ぴったり合っていること」「親しくねんごろなこと」「情愛がある。情愛があるさま。好意が感じられる」「思いやりが深くて親切なさま」「心をこめて隅隅まで気を配っているさま」「懇切・親切で行き届いていること」「あらゆる機会に力添えするさま」「確実である」「親切で手厚いこと」「丁寧なこと」「他人への心情で、思いやりのあること」「特に相手の為に配慮の行き届いている」「深くはなはだしいこと」「特に、心入れの深いこと」「大きな愛情」「好意・好意を持って人の為にすること

と」「自分の身を捧げて他に尽くすさま」「相手を好み親近感を持つさま」「濃やかで万事丁寧なさま」などである。

日本語「親切」のシソーラスの語彙解釈意味は「思いやり」という意味を含有する表現が多い。例えば「思いやりがあり、配慮のゆきとどいている」「思いやりにあふれている」「思いやり深く、よく人につくすこと」「思いやりが深くて親切なさま」「他人への心情で、思いやりのあること」である。「親切」という意味を含有する表現が多い。例えば「行き届いて親切なこと」「親切で」「思いやりが深くて親切なさま」「親切で手厚いこと」である。つまり、日本でも「親切」という評価概念は日常にコミュニケーション行動にプラスの評価概念としてもよくみられる。「親切」の評価概念は「思いやりがあり、配慮のゆきとどいている」「人情の熱いこと・人情が深いこと」「好意・好意を持って人の為にすること」などプラスな対人行動評価を重視することがわかる。例えば：

10. 彼女は他人にとても親切です。(她待人很热情(亲切。))『日中辞典』
11. 彼女はほんとうに親切な人。(她真是个热心的人。))『日中辞典』
12. 彼は色々親切にしてくれた。(他多方热情地关照我。))『現代日漢大辞典』

以上を考察することによって、それぞれの特徴を解明した。中国語“亲切”におけるシソーラスをよく翻訳する日本語語彙は、日本語「親切」におけるシソーラスを解釈する語彙と違う。つまり、日本語の「親切」は、中国語では“热情”や“热心”で表されることが多い。

#### 4.3.2. 「親切」の日本語純粋シソーラスを解釈する中国語グループ

6冊の日中辞典の調査によって、日本語の「親切」概念を中国語でどのような語彙を用いて解釈しているかを表4から考える。

ここで収集した119例を表4で見ると、日本語の「親切」概念を解釈するのに最もよく使われる中国語は“恳切”である。日本語における「親切」に関わる語彙と用例数は、中国語では“恳切”“热情”“好意”“亲切”“诚恳”



る。日本語「親切」シソーラスを翻訳する中国語語彙グループ (38) は中国語“亲切”におけるシソーラスを解釈する中国語グループ (25) より語彙が多い。表2と表4を比較すると、以下のような相違点が考えられる。

- ① 中国語“亲切”におけるシソーラスを解釈する中国語語彙と日本語「親切」におけるシソーラスを翻訳する共通の中国語語彙は“亲切”“热情”“关注”“关怀”“亲密”“照顾”である。
- ② 日本語「親切」におけるシソーラスを翻訳する中国語語彙の内、中国語“亲切”におけるシソーラスを解釈する語彙の中に見られなかったものは“恳切”“好意”“好心”“诚恳”“热诚”“殷情”“温和”“热心肠”“善意”“殷恳”“热情周到”“慈祥”“心眼好”“和善”“和气”“心地好”“富有同情心”“恩惠”“深厚”“体贴”“和蔼”“温顺”“献身・舍身”“真诚”“友好”“恳切周详”“恳切周到”“诚挚”“仁慈”“厚意・好意”“体谅”“担心・挂虑”“关照”“表同情”“厚情・厚谊”である。
- ③ 中国語“亲切”におけるシソーラスを解釈する中国語語彙の内、日本語「親切」におけるシソーラスを翻訳する中国語語彙の中に見られなかったものは“亲近”“热情而关切”“切近”“贴切”“真切・确实”“亲密而热情”“关心爱护”“亲切热情”“关心”“关系密切”“亲密接近”“在意；操心”“关心重视”“热烈的感情”“亲热友好”“有热情有兴趣肯努力做”“肯尽力帮助别人”“时时留心或表示爱护”“待人处事热情积极”“待人热情乐于助人”である。

以上を考察することによって、それぞれの特徴を解明した。特に、共通する語彙が少ないことが判明した。日本語「親切」におけるシソーラスを翻訳する語彙の中に見られなかったものは“热情而关切”“亲密而热情”“关心爱护”“亲切热情”“关心”“关系密切”“亲密接近”“关注”“关怀”“待人处事热情积极”“待人热情乐于助人”などが多い。中国語“亲切”におけるシソーラスを解釈する語彙の内、日本語「親切」におけるシソーラスを翻

訳する語彙の中に見られなかったものは“善意”“恩惠”“深厚”“温順”などが多いことがわかった。

以上が、分析したシソーラスから明確になった、中国語と日本語における【親切】概念の特徴がどう異なるかについてその情報を補強する考察である。

## 5 “親切”についての現代中国語の考察

本研究では、中国の重要な新聞「人民日報」(海外版)(2005年から2009年まで)における「名流」「剪影」「会外見会」「寿星秘訣」「百味人生」「名人專訪」「文芸」「名人書齋」に載っている色々な人物紹介文や記事200篇を利用することにより、現代中国の言語社会でどのようなコミュニケーション行動評価概念があるのかを考察し、いま中国人が対人関係においてどのようなコミュニケーション行動評価の語彙をよく使うかを調査した。各種各様の有名な人物に対する評価の語彙はあまりに様々で豊富であり、大変複雑であると言えよう。これらの語彙を分析するために、中国語におけるコミュニケーション行動評価概念の語彙を採集した。そのうえで社会言語学と語用論の視点から分類と反復を検討した結果、最近の中国人の対人関係におけるコミュニケーション行動評価概念が明確になった。

“親切”と関わる語彙：“亲切”“亲切随和”“亲切热情”“真挚的热情”“热情诚恳”“热情助人”“热情好客”“至诚热情”“关爱”“关心”“爱心”“懂得体恤苦主心情（被害者の気持ちになって考えてくれることが分かる）”“对人很关心（人のことに非常に关心がある）”“热诚”“对亲人对朋友都有一颗热诚的心（身内の者と友達に対して親切で誠意がある心を持っている）”“对人热心”“诚恳”“爱心长辈（情深い心がある年輩の人）”“温情老人（思いやりのある老人）”“大好人（非常にいい人）”“大爱之人（情深い心がある人）”“好人（善人）”“重情分的人（好意を重んじる人）”“仗义（義をもって相助ける）”。

これらの語彙の中には辞書の調査と異なる部分もある。例えば：“大爱之人”“爱心长辈”“温情老人”などである。

ただし、現代社会でも、“親切”という対人関係におけるコミュニケーション行動評価概念が円滑なコミュニケーションをはかるうえで依然重要な手段であることが明確となった。

## 6 コミュニケーション行動評価概念【親切】の日中マイナス(否定)語彙

コミュニケーション行動評価概念は、一般に、三つに区分できる。ある特定の相手に対して「当然」「当たり前」「普通」だと想定する概念を中心に、それからズレをプラス（肯定）とマイナス（否定）の二方向で考えることができるからである。すなわち、こちらが想定している相手の行動への期待からプラス方向へのズレとマイナス方向へのズレがありうる。この構造を上記のコミュニケーション行動評価概念に基づいて説明しよう。

日本語のコミュニケーション行動評価概念【親切】について言えば、期待よりもその行動の程度が低い場合、否定的な評価がなされる。「不親切」「心無い」「無情」「薄情」「不人情」「非人情」「情け知らず」「非情」「無慈悲」「人泣かせ」「冷たい」「冷ややか」「冷淡」「冷血」「冷酷」「血も涙も無い」「つれない」「思いやりのない人」「すごい」「そっけない」のような否定的評価語彙がある。例えば：

13. 「彼女は無慈悲にもみんなの願いを拒否した。(她无情地拒绝了大家的请求。)」
14. 「客に対して不親切である。(对待顾客不热情。)」
15. 「冷たい人。(冷酷的人；不热情的人)」
16. 「思いやりのない人。(冷酷无情的人)」
17. 「じゃけんな人。(冷酷无情的人)」
18. 「彼女の挨拶はよそよそしくて冷たいものだった。(她的应酬非常疏远冷淡。)」。

類義表現や言葉の表現形式が多種多様である。これらの言葉はそれぞれのニュアンスがある。例えば「冷たい」は思いやりや人情の薄い様子といえる。「よそよそしい」(疏远, 见外, 冷淡, 不亲热)は親しみが無い、特に他人行

儀であることを表す。「じゃけんだ」(无情, 没有怜悯之心, 冷冰冰)、相手の気持ちを汲み取ろうとせずに、意地悪だといったマイナス評価の主観的印象を表わす。「冷淡だ(不热情, 不亲热, 冷心肠)」は親切でない、思いやりがないこと、また、同情・親切心を示さないこと、物事に熱心でないこと、人間や人間のしていることに無関心な様子・態度・言動などを表わす。例えば「冷淡な人間(不热情的人, 冷心肠的人)」「人を冷淡にあしらう(冷淡待人)」「薄情だ」は人の気持ちを理解する人情や思いやりに欠ける様子・態度・言動などを表わす主観的なマイナス評価である。「つれない」は思いやりがない、薄情である、冷たい・無関心・冷淡な態度・言動をとる相手の様子を指す。

更に、反対に期待よりもその程度が過剰な場合も否定的に評価され、「お節介」「お節介な人・お節介屋」「大きなお世話」「余計なお世話」「でしゃばる(多嘴多舌, 多嘴闲事)」「差し出がましい(多事, 多管闲事, 多嘴)」と判断される。

コミュニケーション行動評価概念【親切】の中国語対応概念については期待よりもその程度が低い場合の否定評価、またそのマイナスの評価概念は「待人冷漠(人に冷淡である)」「待人冷淡(人に無愛想である)」「不关心(気にかけない)」「不善于体谅人(思いやりがない)」「淡漠(冷たい)」「冷落(冷遇する)」「冷淡(冷然)」「冷冰冰(冷酷である)」「疏远(親しくない)」「冷血动物(冷血動物)」「冷漠无情(冷淡で思いやりがない)」「无人情(つれない)」「无情、薄情(つれない・薄情だ)」「冷酷无情(冷酷で思いやりがない・無慈悲)」「冷酷心肠(つれない心)」「狠心肠(つれない心)」である。

つまり類義表現や言葉の表現形式が多種多様である。特に“冷”と関連語彙が多い。中国語と日本語を比べると、日本語には「同情の気持ちがない」「同情の気持ちが足りない」「冷酷で思いやりがない」のような評価語彙がない。

そして、期待よりもその程度が高すぎる場合の否定評価は“好事(余計なお節介をする、いらぬ世話を焼く)」「多管闲事(余計なお節介をする、首を突っ込む、お節介、差し出がましい、身の程知らず)」「爱管闲事(余計なお節介をする)」「好多事操多余的的心/操多余的的心、操闲心(余計な心配をする)」「多事(余計なことをする)」「好事之徒(お節介な人)」であることがわかつ

た。

例えば“那个人是个爱管闲事的人(彼はお節介な人だ)”。日本語と同じく、中国語にも“亲切”に関わるコミュニケーション行動評価過剰マイナス語彙はプラス評価と期待よりもその程度が低い場合の否定評価よりかなり少ない。

## 7 おわりに

以上、日本語と中国語の【親切】という意味を含有する意味概念を解明することを目標に分析を試みた。本研究での辞書を調査した考察から明らかになったことは、日本語「親切」の意味構造と概念および中国語“亲切”の意味構造と概念は異なるという事実である。日本では対人関係や社会関係の中で、他人の目または集団の人格的価値や社会的に優れた評価を気にして恥をしり、同様に対人接触における他人の気持ちを重んじると言えよう。日本語における「親切」では、「思いやり」や「人情」がその意味の中心に関わっていることが目立った特色である。中国では社会的な評価と同様に対人接触における個人的な情意や信義を重んじると言えよう。中国語における“亲切”では、“亲”“关”“热情”がその意味の中心に関わっていることが目立った特色である。つまり、【親切】というコミュニケーション行動の肯定的な評価概念は中国人と日本人にとって社会での対人関係や日常生活におけるコミュニケーションを円滑に行う行為の重要な役割を果たす働きをするものとも考えられている。

辞書を調査したかぎり、【親切】の概念は日中国民の意識に強く存在し、さまざまな表現や類義語や同義語や反義語があることがわかった。【親切】に関する、両言語間の翻訳語を調べた結果、様々な言い方、特にコミュニケーション行動評価概念のプラス評価と期待よりもその程度が低い場合の否定評価及び過剰マイナス語彙は明らかになった。その【親切】に関わる言葉は一つの側面から、両国の社会文化と慣習風俗のある風貌と特徴を反映している。自分に対する他人や世間の評価を気にするという立証する表現でもある。しかし、日中両言語に「親切」「亲切」の漢字はあるが、日中両国

にはそれぞれの用法があって使い方も同じではない。例えば日本語は「不親切」という言葉があるが、中国語は“不亲切”という言葉がない。そして、「客に対して不親切である」という表現は中国語に訳すと、“对待顾客不亲切”ではなく、“对待顾客不热情”となる。

また、社会・文化の中で慣習化されたさまざまな異なる言葉の機能が見られる。特に日中両国人の意識において、国の文化は世間だけに顔を向けている「恥の文化」である。要するに日本と中国とは対人関係、特に相手に対して【親切】な感情を持ち、「和」を重んじているといえよう。

つまり、【親切】は対人関係に「和」を保つ配慮行動であり、社会でのコミュニケーション成功の一要因といえよう。言葉は時代と共に変わることがあるが、本研究は辞典を調べることのみで考察したもの故、今実際に【親切】の概念が社会でどのような働きがあるのか、そして対人関係の中でどのような役割をするのか、その実態は今後われわれの研究課題の一つである。

## 用例出典

### 中中辞典

鮑克怡 (1990) 『同義詞反義詞対照詞典』 吉林教育出版社.

程孟輝 (2006) 『同義詞近義詞反義詞詞典』 商務印書館.

董大年 (2007) 『現代漢語分類大詞典』 漢語大詞典出版社.

龔学勝 (2008) 『当代漢語詞典』 商務印書館.

李行健 (2014) 『現代漢語規範詞典』 外語教学与研究出版社, 第三版.

罗竹風 (1986) 『漢語大辞典』 漢語大辞典編輯委員會 編纂 上海辞書出版社.

孫天赦 (2008) 『現代漢語大詞典』 崇文書局.

孫全洲 (1995) 『現代漢語學習辞典』 上海外語教育出版社.

王喜 (1995) 『速查同義反義詞典』 海洋出版社.

楊寄洲・賈永芬 (2007) 『1700対近義詞語用法対比』 北京語言大学出版社.

中国社会科学院言語研究所辞典 編輯室 (2005) 『現代漢語辞典』 商務印書館.

新華漢語詞典編委会 (2004) 『新華漢語詞典』 商務印書館.

## 日日辞典

- 小学館国語辞典編集部（2006）『日本国語大辞典』小学館 精選版。  
 赤塚忠他 編（1996）『漢和辞典』旺文社 第五版。  
 北原保雄（2011）『明鏡国語辞典』大修館書店 第二版。  
 小川環樹・西田太一郎・赤塚忠編（2010）『角川新字源』角川書店 改訂版。  
 講談社辞典局編（1992）『現代実用辞典』講談社 第二版。  
 佐藤進・濱口富士雄 編（2011）『漢辞海』三省堂 第三版。  
 佐藤進・濱口富士雄 編（2001）『角川類語新辞典』三省堂 第五刷。  
 新村出（2008）『広辞苑』岩波書店 第六版。  
 林 大 監修（1989）『国語大辞典 言泉』小学館。  
 松村 明 監修（2012）『大辞泉』小学館 第二版。  
 松村 明（2006）『デジタル大辞林』三省堂 第三版。  
 山口翼（2003）『日本語大シソーラス』大修館書店。  
 山田忠雄（2005）『新明解国語辞典』三省堂 第六版。

## 中日辞典

- 愛知大学「中日大辞典」編纂処編纂（2010）『中日大辞典』大修館書店 第二版。  
 北京商務印書館・小学館共同編集（2003）『中日辞典』小学館 第二版。  
 北京言語学院著／北京商務印書館・東方書店編（1986）『簡明中日辞典』東方書店。  
 相原茂（2002）『漢語学習辞典』朝日出版社。  
 倉石武四郎著（1983）『岩波中国語辞典』岩波書店。  
 吉林大学漢日辞典編纂（1992）『漢日辞典』吉林人民出版社。  
 大東文化大学編纂室編（1994）『中国語大辞典』角川書店。  
 香坂順一編著（1986）『現代中国語辞典』光生館。  
 譚晶華・王萍・季林根 編（1992）『西索簡明漢日詞典』上海外語教育出版社・西索國際文化公司（香港）。

## 日中辞典

- 北京・对外经济贸易大学（2002）『日中辞典』北京商務印書館 小学館。  
 遠藤織枝（1995）『日本語を学ぶ人の辞典』新潮社。  
 黄幸主編（1995）『日漢・漢日双向辞典』北京出版社。  
 陳涛主編（1991）『日漢大辞典』機械工業出版社。  
 陳涛主編（1994）『牛頓日漢詞苑』牛頓出版株式会社。  
 香坂順一・望月八十吉・宮田一郎（1981）『現代日中辞典』改訂版 光生館。  
 北京外国語学校編（1983）『詳解日中辞典』北京出版社 光生館。  
 主編 宋文軍 副主編 姜晚成（1991）『現代日漢大詞典』中国商務印書館・日本小学館。

## 参考文献

- Hermanns, F. (1993): “Mit freundlichen Grüßen. Bemerkungen zum Geltungswandel einer kommunikativen Tugend”. W.P. Klein / I. Paul (Hrsg.): *Sprachliche Aufmerksamkeit, Glossen und Marginalien zur Sprache der Gegenwart*. Heidelberg: Universitätsverlag C. Winter, 81-85.
- Ide, S. et al. (1992): “The concept of politeness: an empirical study of American English and Japanese”. In: Watts, R.J. et al. (ed.): *Politeness in language: studies in its history, theory and practice*. Berlin / New York: de Gruyter, 281-297.
- Kuhlmann, J. (2005): “Sind Deutsche weniger kooperativ als Japaner? Eine semantische Untersuchung” *Lebende Sprachen* Nr. 2, 68-76.
- Marui, I. et al. (1996): “Concepts of communicative virtues (CCV) in Japanese and German”. M. Hellinger /U. Ammon (eds.): *Contrastive sociolinguistics*. Berlin / New York: de Gruyter, 385-409.
- Nishijima, Y. (1995): “Über den Bedeutungswandel von “teinei” —zum internationalen Vergleich der Konzepte von kommunikativen Tugenden”. 『好村富士彦教授退官記念論文集』, 207-220.
- 西嶋義憲・陶琳（2009）：「コミュニケーション行動評価概念の日中比較一大

- 学生対象のアンケート調査に基づいて」語彙研究会『語彙研究』第7号 pp.66-78.
- 南相瓊・西嶋義憲・斉木麻利子 (2006): 「ポライトネス・グラマー—コミュニケーション行動評価概念の日韓比較—」『金沢大学留学生センター紀要』第5号, pp.1-19.
- 陶琳 (2008): 「コミュニケーション行動評価概念の日中比較—ポライトネス・グラマーを利用して」日本言語科学会第10回年次国際大会『JSL2008』(静岡県立大学) 論文集, pp.85-88.
- 陶琳 (2010): 「コミュニケーション行動評価概念「思いやり」の日中比較」『神奈川大学言語研究』第32号, pp. 93-108.
- Yamashita, H. (2003): “Soziale Relevanz der Höflichkeit”. *Neue Beiträge zur Germanistik*, Bd. 2, H. 1, 104-118.
- 賈玉新 (1997) 『異文化コミュニケーション』上海外語教育出版社
- 中根千枝 (1967) 『タテ社会の人間関係』講談社現代新書
- 森本哲郎 (1988) 『日本語 表と裏』新朝社
- 森本哲郎 (1995) 『日本語根ほり葉ほり』新潮文庫